

みづき 便り

Mizuki Dayori

NO.26

2017.9

特別地方公共団体
神奈川県内広域水道企業団 広報誌



特集 取水施設の仕事って? 体験! 水道水をつくる仕事①

「相模大堰」の下流にある「水管橋」。相模取水施設から伊勢原浄水場に送られた水は、水道水となってここを通って各地に送られる



特集 体験！水道水をつくる仕事①

取水施設の仕事って？

案内してくれた人

神奈川県内広域水道企業団
技術部 取水管理事務所
主幹

池谷 邦夫さん

まずは取水施設の仕組みや役割
を学ぶ



「みずき便り」の新シリーズのスタートです。

神奈川県内広域水道企業団(以下、企業団)は、水の大切さや、水道の仕組みを知っていただくために、施設見学や職業体験などで多くの方を受け入れています。新シリーズは県内の小学生が、水道水をつくるさまざまな仕事を体験・リポートします。今回は横浜市立鳥が丘小学校5年生の石井蓮菜さんと、横浜市立星川小学校4年生の佐藤響介さんの二人が、相模取水施設を訪ね、その仕事を体験しました。

小学校で出前授業

2月28日、小田原市立矢作小学校で水の循環や、浄水の仕組みについて出前授業を行いました。神奈川自然環境保全センターとの合同企画です。写真は水をきれいにする浄水実験の様子です。安全安心な水道水には、当企業団のような水道施設だけではなく、整備された森や山などの自然が大事です。自然を大切にすることが私たちの水道水を守ることにつながることを、子どもたちに学んでほしいと思います。



新規採用職員研修

4月3日～11日にかけて、新規採用職員の研修を行いました。今年度は、男女あわせて8名が当企業団に入団しました。県民・市民の生活を支える水道のプロとして働けるよう、さまざまな講座を開設し学んでいます。当企業団では、入団後も職種にあわせた研修プログラムを用意しており、人材育成を強化しています。



『水道企業団ニュース』

「クリーンさかわ」「県央相模川サミット」に参加

5月14日にクリーンさかわ(酒匂川)、28日に県央相模川サミット(相模川)に参加しました。いずれも晴天の中、河川敷を中心に行いました。写真は、県央相模川サミットの様子です。当企業団は、酒匂川・相模川の二つの川を水源としています。きれいな川を守るために、これからもこのような清掃活動に積極的に参加していきます。





「沈砂池」では「除塵機」の操作を体験。取水された水から大きなごみが取り除かれていく様子(円の中の写真)がよく分かります。

「水質計器室」。計器による水質点検で、いち早く川の異常を察知します。人間の感覚で行う臭気試験もあります。(円の中は臭気試験の設備)



「管理室」で、ITV監視カメラで監視の仕事を体験。相模川の状態や、施設内の様子が手に取るように分かります。

相模取水施設の役割はなんですか？

池谷 「相模大堰」で相模川の水を計画的に取水し、「除塵機」で大きなごみや、流れてきた木の枝などを取り除きます。「沈砂池」で5時間ほどかけて大きな砂や石を沈めて取り除き「ポンプ室」に8台ある「導水ポンプ」で伊勢原方面および綾瀬浄水場に送ります。取水施設は、川の水が水道水に生まれ変わるためにのスタートラインですね。

川の水の汚れなどにどう対応していますか？

池谷 水道水をつくるための水質の管理も大切な仕事です。臭いや濁り具合、含まれている成分など、毎日、川の

水をチェックして「安全・安心」な水道水をつくることに取り組んでいます。たとえば臭気試験は併設されている「広域水質管理センター」と連携して、2時間ごとに職員が直接臭いを確認しています。もちろん、油、化学物質、毒物などを見逃すことはありません。

どんなことに気をつけていますか？

池谷 水は私たちの暮らしに欠かせないものです。各設備が毎日正しく機能できるよう、点検や整備に努めています。地震などの災害にも耐えるよう施設の補強をしています。また、万一被害があっても素早く復旧できるよう、「自家発電設備」を設置しています。

企業団 N O W ~安全・安心な水道用水の安定的な供給に向けて~

水防演習に参加

5月28日に酒匂川で開催された水防演習に参加しました。この演習は水害から県民の生命や財産を守るため、防災機関などの技術向上することを目的としています。当企業団からは、企業長と飯泉取水管理事務所長ほか4名の職員が参加しました。恵みの源である川ですが、洪水などの大きな災害を生み出すおそれもあります。今回は川の増水を知らせる役割の演習に参加しました。いざというときに、各団体と連携・協力できるよう尽力していきます。



「みづきフェスタ2017」開催

水道週間(6月1日～7日)に当たる6月3日(土)、社家取水管理事務所(海老名市)で「みづきフェスタ2017」を開催しました。当日は、地元中学校の吹奏楽演奏や高校生のダンスパフォーマンスなどもあり、たくさんの方にご来場いただき大変賑わいました。水道施設を学べる「水の学習スタンプラリー」も大変好評で、鮎の遡上の時期とも重なり喜んでいただけました。ご来場いただいた皆さまありがとうございました。来年もお待ちしております。



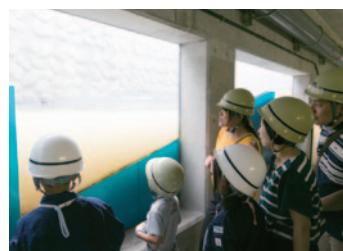
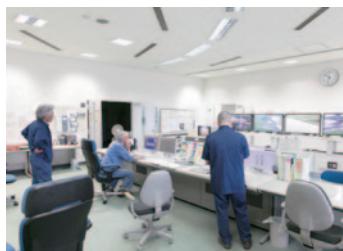
中学生の職業体験

6月29日、横浜市立原中学校の生徒が職業体験のため、社家取水管理事務所を訪れました。管理室でのモニター操作や除塵機の現場操作、広域水質管理センターで臭気検査、綾瀬浄水場で残塩計器の数値校正などの業務を体験しました。当たり前に使える水道水ですが、みなさんご家庭に届くまでにはさまざまな職員のいろいろな仕事が関わっています。今回体験してくれた生徒たちが将来、水道の仕事を携わってくれるとうれしいですね。





「ポンプ室」で停止中ポンプ(円の中の写真)の作動チェック体験。8台あるポンプで、取水した水を綾瀬浄水場と伊勢原方面へ送ります。



設備の全てをコントロールする管理室。特に施設内の安全に関しては、二人ずつの6班体制で24時間、365日の監視体制をとっている。

体験の合間に「魚道観察室」で一休み。相模大堰の両岸には魚たちが川を行き来できるよう「魚道」が設置されており、魚たちの様子が観察できる。

水道水を絶やすことなく、安定して送り続けることは私たちの使命です。毎日の施設や設備の保守・点検は、とても地道な作業ですが、どんな小さなことも見逃さないという気持ちを大切に、予測される事態には事前に対処するようにしています。

その一つひとつの積み重ねが、水道水を守ることにつながっていくのだと思っています。

〈シリーズ〉 水源のまち・流域のまち

Vol.1

足柄上郡 山北町

神奈川県の最も西側に位置する山北町。その魅力を表現すれば「都会に近い大自然」です。

北西部は山梨県に、南西部は静岡県に接し、面積は224.61km²。県内では横浜市、相模原市に次ぐ広さです。そのおよそ90%が「丹沢大山国定公園」や「県立自然公園」などに指定され、県内有数の自然環境を誇ります。

主な産業は農林業、そして観光です。丹沢の山々と、「ユーシン渓谷」や「洒水の滝」などの豊かな水脈が形づくる美しい渓谷美、そして森の緑を求めて多くの人が町を訪れます。横浜や東京から近いという立地の良さもあって、登山者や観光

客は年間約160万人。町の人口およそ1万人と比べても、観光スポットとしてその人気の高さがうかがえます。

美しく、豊かな水は山北町の貴重な財産です。その水を生かし、古くから酒づくりや豆腐づくりが行われ、土地の名産品などを認定する「やまとたブランド」の一つになっています。

一方、東名高速道路・国道246号による利便性から、多くの企業の工場が立地し、町の経済を支えています。

この山北町と神奈川県内広域水道企業団には大きな接点があります。それは、企業団と東京発電株式会社が事業主体となって1979年に完成した「三保ダム」です。酒匂川水系最大の支流、河内川の中流に建設されたダムは町のほぼ中央部にあり、ダムによって生まれた「丹沢湖」は有効貯水量が5,450万立方メートル、県民の大切な水瓶の一つになっています。

丹沢湖は、四季折々の豊かな自然に囲

こんな仕事も!

災害から施設や設備を守ったり、日頃からの保守・点検も欠かせない仕事です。

災害などで電気が停まってしまうときのための「自家発電設備」の運転操作体験。安定した水道水供給に欠かせない設備です。



止用の柵です。大雨のときは流れてしまったものがつまつて壊れないように倒します。実際に倒してみました。

《子どもたちの感想》

除塵機の体験がとても面白かった。川にあんなにごみが流れているんだと分かって、とてもびっくりした。
いつも出しちゃなしにしたり、水を無駄にしてたような気がする。これからはもっと水を大切にしよう!

《お母さん・お父さんの感想》

★勉強になりました。水道水をつくるためにいろんな仕事があるんですね。取水という仕事も良く分かりました。

★水をもっと身近に、そして大切に考えたい。

★水道水をつくるには、時間や人手がかかり大変な仕事だと分かりました。いろんな人に支えられているんですね。

相模取水施設では見学を受け付けています。お問い合わせは社家取水管理事務所まで ☎046-239-2810

まれ、武田信玄公の隠し湯と伝えられている「中川温泉」にもほど近く、山北町観光の中心も担っています。また、「カヌーマラソン IN 丹沢湖」、「丹沢湖ハーフマラソン大会」、「西丹沢もみじ祭り」などの舞台にもなっており、まさに「水源のまち山北」のシンボル的な存在です。

山北町は、美しい自然環境や水環境を大切にすることで発展を続けてきました。そして今も、神奈川の貴重な水源地域の環境保全対策に、町を挙げて取り組んでいます。



丹沢湖と富士山（写真提供：山北町）



**横須賀市上下水道局
好評です！出前授業
～水道の講話と実験お届けしています～**

横須賀上下水道
イメージキャラクター
アクアン

横須賀市上下水道局では、市内小学4年生を対象に出前授業を行っています。

出前授業とは、職員が小学校にお伺いしてクイズなどを織り交ぜた講話や川の水をきれいにする実験を行い、子供たちに水道の役割や仕組みについて学んでもらうものです。

小学校の総合的な学習や社会科の授業と連携して行うことで、次世代を担う子供たちに水循環の大切さや水環境保全の必要性など、日常生活に欠かせない水道に対する理解をより深めてもらうことを目的としています。

子供たちは普段と違う授業と実験に興味津々。いつも「へえー！」や「なるほど！」の声が聞こえています。



出前授業の様子

詳細は、横須賀市上下水道局HPで

横須賀 上下水

検索



**川崎市上下水道局
誕生!!
「水とかがやく未来館」**

川崎市上下水道局
キャラクター
ウォータン



川崎市の長沢浄水場内において、川崎市の水道が学べる施設である「水とかがやく未来館」が今年6月にオープンしました。川崎市で使っている水はどこから来て、どのように飲み水を作つて家庭に届くのかわかりやすく学べる施設となっています。

縦9メートル、横3メートルの大型画面を使用した迫力ある映像がこの施設の目玉です。見学者からはわかりやすいと好評で、多くの方に見学していただき、水道について学んで欲しいと思っております。

当施設を見学したい場合は、事前予約制となっていますので、下記連絡先に連絡してください。みなさまからの連絡をお待ちしています。

【連絡先】

川崎市上下水道局サービス推進課 044-200-3097

川崎市 水とかがやく未来館 検索



神奈川県企業庁

**毎日の水分補給は
安心安全な水道水で！**

県営水道キャラクター
カッピー

神奈川県営水道は、健康のために水道水などで水分補給することを啓発する「健康のため水を飲もう」運動*を推進中です。

運動や入浴、就寝中など普段の生活の中で汗をかくことで不足する水分は、こまめに補給することが大切です。

「のどが渴いた」と感じるのは、すでに脱水が始まっている証拠です。健康にとって欠かすことのできない水分を、生活の中で身近な存在である水道水で手軽に補給しませんか。

*「健康のため水を飲もう」推進委員会が主唱し、厚生労働省が後援している運動で、多くの水道事業体等がこの運動に協賛しています。

水分補給で元気な毎日

検索

横浜市水道局

飲料水備蓄促進キャンペーン

「横浜水缶」の特典付き販売を実施します

横浜市水道局キャラクター
はまピョン

毎年9月1日は「防災の日」、そしてこの日を含む1週間は「防災週間」です。横浜市では災害に備え、市民の皆さんに「ひとり1日3リットル、最低3日分で9リットル以上」の飲料水の備蓄をお願いしています。

飲料水の備蓄促進を目的に、水道局では製造から7年間保存できる備蓄飲料水「横浜水缶」を販売しています。そして、10月31日(火)まで「飲料水備蓄促進キャンペーン」として、「横浜水缶」を特典付きで販売しています。

災害時には、給水所で水を汲むために長い行列がでたり、汲んだ後も重い水を運ぶのはとても重労働です。いつ発生するか分からない災害に備えて、日頃から飲料水を多めに備えておきましょう。



横浜水缶 備蓄促進キャンペーン

検索

みずきPLAZA

平成29年度職員採用試験

生活に欠かせない「水」。あなたも「水道のプロ」として活躍してみませんか。

試験の種類など

| 試験の種類 | 試験の区分 | 採用予定人員 | 受験資格 |
|-------|--------------------|--------|-----------------------------|
| I 種 | 行政 | 若干名 | 昭和62年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた人 |
| | 土木 | 若干名 | |
| | 建築 | 若干名 | |
| | 設備 (※科目選択制) | 電気機械 | |
| | 水質化学生物 (※科目選択制) | 若干名 | |

受験申込受付期間 平成29年9月29日(金)まで

第1次試験日 平成29年10月29日(日)

試験会場 専修大学 生田キャンパス10号館

受験案内・申込書の入手方法

- インターネット配布：申込書をダウンロードできます。
- 郵便請求：〒241-8525 横浜市旭区矢指町1194 神奈川県内広域水道企業団 総務部総務課人事・労務係宛 ※140円切手を貼った宛先(住所・氏名)明記の返信用封筒(角2号)を必ず同封してください。
- 直接配布：当企業団(三ツ境庁舎)にて配布します。
- お問い合わせ先：総務課 人事・労務係 ☎045-363-3894 詳細は当企業団ホームページをご覧ください。

水循環を考える

水道の仕組みや下水道の役割、とかく飲料水に関心が行きがちですが、大切なことを改めて感じました。水道や水循環について考えさせられました。S.T(横浜市戸塚区)

水つくる環境の大切さ

水道があってあたりまえの毎日の生活をしていますが、改めて節水、水環境を大切にしなければと思いました。これからの中も楽しみにしています。 A.S(横浜市神奈川区)

実際に見て学ぶことが大切

リポーターが小学生なのが良い。いろいろと学ぼうとする意欲が旺盛なこの時期に、このような企画は最適だと思います。聞くよりも実際に見せないと。ぜひ、続けてください。 N.Y(平塚市)

プレゼントコーナー



「みずき便り」読者の中から、抽選で5名の方に企業団オリジナルの「やまなみ五湖のブレンド水」340ml缶1ケース(24本入)をプレゼントします。ご希望の方はハガキ、FAXまたはメールで、住所/氏名/電話番号/年齢/職業を明記の上、下記までお寄せください。その際、今号の内容へのご意見・ご感想も忘れずにお願ひいたします。

応募締め切り：平成29年10月31日(火)必着 ※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます

応募先：〒231-8445 横浜市中区太田町2-23神奈川新聞社クロスメディア営業局内「やまなみ五湖のブレンド水プレゼント」係 FAX.045-227-0765 kokoku@kanagawa-np.co.jp

●プレゼントに関するお問い合わせは ☎045-227-0737 までお願いいたします。

編集後記

今号から、新たな特集「体験！水道水つくる仕事」がスタートしました。安全・安心な水道水を安定的に供給するためにどんな仕事があるのか、みなさんにぜひ知りたいと思います。

今回取り上げた取水管理事務所は、川と直結する自然と隣り合わせの仕事です。どんな季節・天候であっても水道水を供給し続けることを使命としています。

(総務・広報係)

神奈川県内広域水道企業団とは

三保ダムと宮ヶ瀬ダムに貯めた水を浄水処理し、構成団体を通じて、利用者の皆様に、安全で安心な水道水を供給している「特別地方公共団体」です。

